

近畿地方整備局情報

平成21年度 近畿圏広域地方計画の推進状況について

1. はじめに

近畿地方整備局では、平成21年度の近畿圏広域地方計画の推進状況について、近畿圏広域地方計画協議会の構成機関と連携して取りまとめ、6月30日に公表しました。本稿では、公表された資料の中から、特に近畿地方整備局の取組を中心に紹介いたします。

■「近畿圏広域地方計画協議会」の構成機関

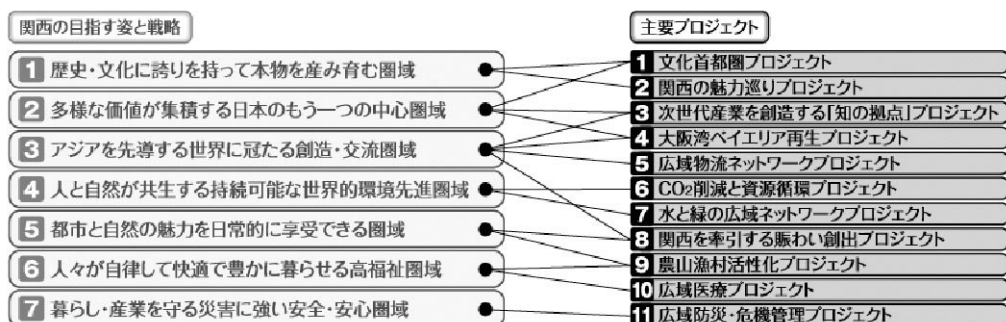
- 〈府県〉 福井県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、徳島県
- 〈指定都市〉 京都市、大阪市、堺市、神戸市
- 〈市 町 村〉 近畿市長会、近畿ブロック府県町村会
- 〈経済団体等〉 (社) 関西経済連合会、大阪商工会議所、(社) 関西経済同友会、京都商工会議所、堺商工会議所、神戸商工会議所、関西広域機構
- 〈国の地方支分部局〉 近畿管区警察局、総務省近畿総合通信局、財務省近畿財務局、厚生労働省近畿厚生局、農林水産省近畿農政局、林野庁近畿中国森林管理局、経済産業省近畿経済産業局、経済産業省中国経済産業局、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省中部地方整備局、国土交通省中国地方整備局、国土交通省近畿運輸局、国土交通省神戸運輸監理部、国土交通省大阪航空局、気象庁大阪管区気象台、海上保安庁第五管区海上保安本部、海上保安庁第八管区海上保安本部、環境省近畿地方環境事務所

2. 近畿圏広域地方計画について

近畿圏広域地方計画は、国土形成計画法に基づき、近畿圏（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）を対象に作成した概ね10年間の計画であり、人口減少・高齢化時代や国際競争が激化する時代にあっても自立的に発展できる「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を目指すものです。なお、本計画では「近畿圏」を「関西」と称しています。

関西の府県、政令市、国の関係機関、主な経済団体等からなる広域地方計画協議会の議論を経て、平成21年8月4日に策定されました。

本計画では、概ね10年後の関西の目指す姿として7つの圏域像を定め、その圏域像を実現する手段として、11の主要プロジェクトをまとめています。



3. 平成21年度の主な取組事例について

平成21年度は、本計画に関係する様々な取組が関係機関により行われました。以下に、平成21年度の取組について、主要プロジェクトごとに、近畿地方整備局で主に取り組みされた事例を中心に紹介します。なお、取組内容をより適切に記載するため、一部の取組事例については、平成22年度の取組内容も一部記載しています。

3.1 文化首都圏プロジェクト

歴史・文化の蓄積である「本物」を活かして、地域づくりの取組が各地で展開され、文化首都圏の形成に大きく前進しました。

□「関西ブランド」の創造に向けて

平成21年8月に、「関西ブランド」創造に向けた取組推進の啓発として、「関西ブランドセミナー」が181人の参加により開催されました。また、地方自治体、経済界、国の出先機関などの関係機関による「関西ブランド力向上に関する検討会」が開催され、「関西ブランド」創造に向けた取組について、複数のブランド候補によるケーススタディにより具体的取組イメージが共有され、今後、具体的な取組を明確化させることとなりました。

□「平城遷都1300年祭」の開幕

□世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」での活動 (一万人の参詣道「環境保全」活動等)

□貴重な文化財の保全・保存

(姫路城の保存修理等)

□歴史・文化を活かしたまちづくり

(歴史的風致建造物の修理等)

3.2 関西の魅力巡りプロジェクト

関西の特徴である歴史・文化を活かして、関西の魅力向上に向けた様々な取組が行われました。

□海外からの観光客誘致の取組

(ビジット・ジャパン・キャンペーン事業の取組、

外国人観光客の利便性向上の取組等)

□山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟に向けた取組

□通年型・宿泊型観光の取組

(嵐山花灯路、東山花灯路等)

3.3 次世代産業を創造する

「知の拠点」プロジェクト

アジア・世界を先導する次世代産業の創造や国際競争力の強化を目指して、関西に集積する研究機能や産業等を活かした様々な取組が行われました。

□大阪駅北地区の開発

□環境・エネルギー産業の海外展開支援

(ベトナム・ホーチミン市の水道事業参加可能性を調査等)

□バイオ・ライフサイエンス

(「関西バイオメディカルクラスター拠点」構想の採択、長浜バイオクラスターネットワークの設立等)

3.4 大阪湾ベイエリア再生プロジェクト

大阪湾ベイエリアでは先端産業の集積が進み、阪神港(大阪湾)の臨港道路やコンテナターミナルの充実が図られるなど、「グリーンベイ・大阪湾」に向けた取組が進んでいます。

□港湾機能の充実

平成21年8月に夢咲トンネルが開通し、夢洲コンテナターミナルでは平成21年10月から、3バース一体運用が開始されるなど、港湾機能の充実・強化が図られました。

□産業の集積(パネル・バッテリー工場の立地)



夢洲コンテナターミナル

3.5 広域物流ネットワークプロジェクト

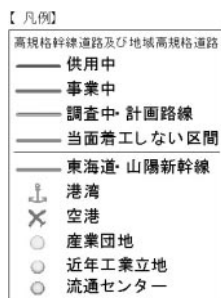
第二京阪道路の全線開通や臨港道路の充実など、広域物流を支える港湾機能の強化や産業・物流拠点を結ぶネットワークの充実・強化が進んでいます。

□道路ネットワークの充実・強化

平成22年3月20日、第二京阪道路が全線開通しました。北河内地域では幹線道路が不足していることから、通過する交通と地域内の交通が国道1号に集中し慢性的な混雑が発生していました。第二京阪道路の開通後、国道1号の主要な渋滞ポイントであった中振南交差点や池之宮北交差点の渋滞が解消しており、大阪～京都間の国道1号を利用した場合の移動時間が約4割短縮するなど、北河内地域で大きな課題となっていた国道1号の渋滞状況が改善しています。



第二京阪道路 位置図



第二京阪道路（寝屋川市）

□環日本海地域を活かした物流機能の強化

平成22年4月に、舞鶴港で多目的国際ターミナルが供用開始されました。



舞鶴港「舞鶴国際ふ頭」

3.6 CO₂削減と資源循環プロジェクト

低炭素社会の構築に向けた取組として、フォーラムやシンポジウム等が開催され、低炭素社会の構築に向けて気運の醸成が図られました。

□フォーラム、シンポジウム等の開催

（「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウム、「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式の開催等）

□産学官民一体となったCO₂の削減

（堺第7-3区に10MWの太陽光発電所を建設予定等）

□資源循環の推進（こうべバイオガス等）

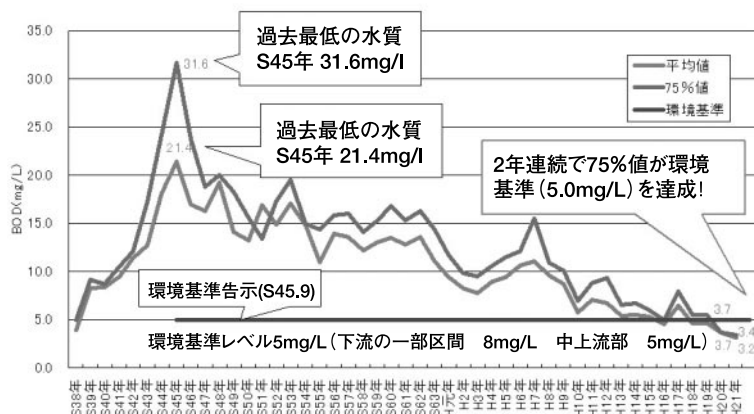
3.7 水と緑の広域ネットワークプロジェクト

大阪湾や琵琶湖・淀川流域圏での水環境の再生に向けた様々な取組や緑のヒンターランドの保全に関する取組が進められています。

□水環境の再生

大和川では、水質改善に向けて、市民、企業、自治体、府県、国が連携し流域全体で推進しています。平成21年度水質調査結果では、本川8地点平均のBOD75%値が3.4mg/l、同じくBOD年平均値が3.2mg/lと観測史上最もきれいな水質を昨年に引き続き2年連続で更新しました。また、昭和45年にはBOD75%値が31.6mg/lを記録しましたが、平成21年には3.4mg/lと約1/9まで改善されました。

近畿地方整備局情報



ようやく環境基準レベルにまで改善した水質（BOD値）

平成6年より毎年実施している淀川城北ワンド群におけるイタセンパラ稚魚調査では平成18年度から稚魚が確認されていません。そこで、イタセンパラを野生復帰させるため、平成21年度に試行的に再導入を実施し、その効果をモニタリング・分析しています。



淀川におけるイタセンパラの保全・再定着（イメージ）

□「緑のヒンターランド」の保全

（関西各地で、住民、NPO、企業、行政等が協働して植林、間伐等を実施）

3.8 関西を牽引する賑わい創出プロジェクト

各都市の魅力を活かした、関西活性化のための取組が各地で行われました。

□「水都大阪2009」の開催

水の都・大阪の復興を広く伝えるためのシンボルイベントとして、平成21年8月22日から10月12日までの52日間にわたり、「水都大阪2009」を開催しました。大阪市内の中之島公園会場、八軒家浜会場、中之島水辺会場、水の回廊、まちなか会場で、多くのプログラムが行われ、会期中は

約190万人の人出で賑わいました。

□京町家の保全・再生

（京町家まちづくりファンドによる改修等）

□「平城遷都1300年祭」での賑わい

（奈良県内各地の観光客も増加）

□「デザイン都市・神戸」に関する取組

（「ユネスコ・デザイン都市フォーラム in KOBE」の開催等）

□「淡路花博2010花みどりフェア」の開催

□中心市街地活性化に向けた取組

（琵琶湖ウォーターフロント賑わいの創出等）

3.9 農山漁村活性化プロジェクト

都市と農山漁村の共生・対流を進める取組など、農山漁村を活性化する様々な取組が行われました。

□都市と農山漁村の交流

（「都市と農山漁村のブリッジ」プロジェクト事業、滋賀県湖北地域移住・交流サポートシステム構築事業、オーライ！ニッポン和歌山シンポジウム、海と里の大学等、小規模集落元気作戦等）

□「ジビエ料理」の開発等の取組、高齢者ICT

スキルの向上等

3.10 広域医療プロジェクト

3府県でドクターヘリを共同運航する取組など、医療について府県の区域を越えた広域連携の取組が進んでいます。

□3府県共同運航によるドクターヘリの導入

□産学官連携による先端医療に向けた取組

□神戸市の「健康を楽しむまちづくり」に関する取組

3.11 広域防災・危機管理プロジェクト

広域防災・減災対策として、2府7県他関係機

近畿地方整備局情報

関との合同防災訓練など、関係機関との連携による様々な取組が行われました。

□ 2府7県の合同防災訓練

福井県嶺北北部を震源とする大規模地震を想定し、近畿2府7県（福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県）が参加する合同防災訓練を平成21年10月17日、18日に実施しました。



近畿府県合同防災訓練

□ TEC-FORCE の出動

平成21年7月和歌山県田辺市や中国・九州北部の豪雨被害や8月の兵庫県佐用町の豪雨被害について、緊急的に現地調査を実施し、早期本格復旧に向けて技術的支援・助言を行うため、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）を近畿地方整備局から現地へ派遣しました。



TEC-FORCE隊員による現地調査

□ 河川改修の効果

平成21年8月の台風9号の影響による円山川の洪水では、集中的に実施した河川改修により、河川の水位を大幅に下げたことが確認されました。



平成21年8月9日
（台風9号影響）洪水における円山川の河川改修の効果

□ その他の危機管理体制の確立に向けた連携

4. おわりに

本計画の主要プロジェクト毎に進捗状況を確認したところ、平成21年度の関西においては、「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を掲げた本計画の実現へ向けて、各地域の多様な個性を活かしながら前進していると言えます。

関西には、全国の世界文化遺産の11件のうち5件、国宝の約6割を有するなど、我が国を代表する歴史・文化遺産を有しているという他圏域にはない大きな特徴があります。また、関西国際空港や阪神港等の優れたインフラもあり、こうした大きなポテンシャルを活かして、圏域全体としての総合力を発揮できる取組が求められています。

今後も引き続き「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を目指すため、関係機関で連携して本計画の取組を進めていくこととしています。